

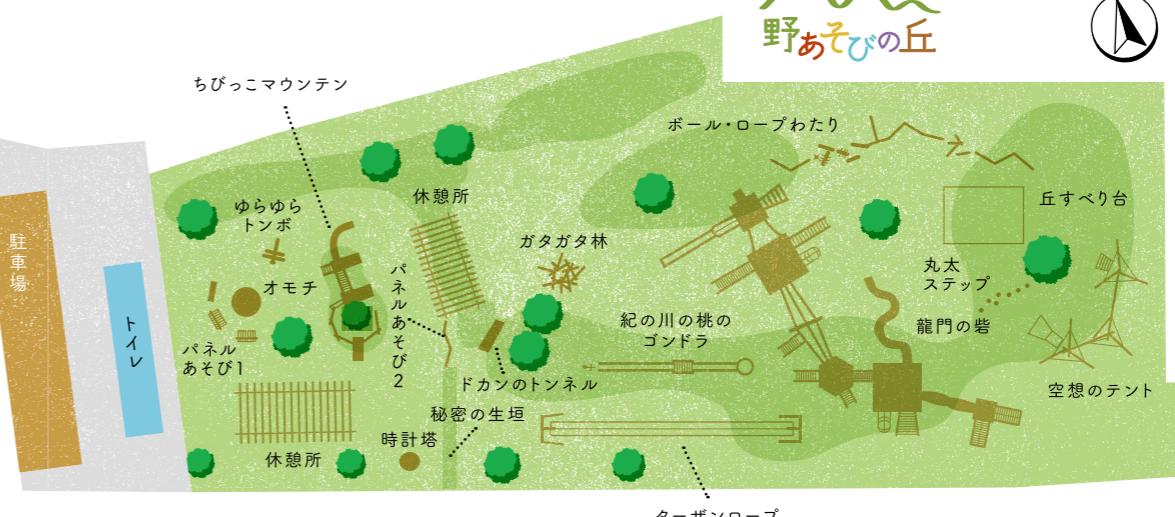
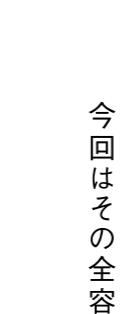
市民憩いの 公園が リニューアル！

今年、紀の川市と岩出市にある二つの公園が

再整備され、生まれ変わりました。

それぞれにユニークな仕掛けがあり、市民の憩いのスポットとなること間違いなし！

今回はその全容に迫ります。



かまどベンチ & かまどスツール

防災用備蓄倉庫

東屋

組み立てると、かまどになるベンチ（公園内4ヵ所設置）。遊具近くに設置された、かまどスツールも同様の機能を果たします。

テントや食料、投光器、排水ポンプ車、LPガス非常用発電機などの防災資機材が保管されています。

災害時の支援活動の際には横幕を張り、応急救護所などとして活用可能です。屋根内側には非常用電源を完備しています。

防災設備を完備した 交通公園として再出発

もともと、信号や交通標識、横断歩道などが設置されたユニークな公園として知られていた岩出市交通公園。令和元年度から2年度にかけて防災機能の強化を目的に整備を行い、今年5月1日にリニューアルオープンしました。

災害発生時には、避難者の生命を守るために関わる自衛隊などによる災害時の支援活動拠点としても利用できる、心強い存在に生まれ変わったのです。災害時には、トイレスなどライフラインに関する設備も使用することができます。

「平常時には遊具のある公園として、市民の方々にぜひ遊びに来てほしいです。また今後、交通ルールの周知と啓発といった取り組みも行いたいと考えています」と岩出市役所危機管理室の安村俊哉さんは話します。

「今後は、公園を活用した防災啓発活動や防災訓練の実施を検討していくます。災害発生時の初期は、自助（自分の身は自分で守る）と共助（周囲の人々と助け合う）が大切です。日頃から災害に対する備えをしておきましょう」と防災意識を持つ重要性を呼び掛けます。



岩出市役所 総務部 総務課
危機管理室係長
安村俊哉さん



紀の川市役所 企画部
企画経営課主任
西端克典さん

「子どもと一緒に遊びたい」という声が「野あそびの丘」で楽しそうに遊んでいる様子を見られて、うれしいです」と紀の川市役所企画経営課の西端克典さんは話します。公園の名称を考案したのは西端さん。「野山で遊ぶ」という公園のコンセプト、そして同園の特徴である丘や畠から着想を得ました。実際に触ることで、子どもの感性が育まれてほしい」という思いから、園内に四季折々の花や木々を植栽したほか、新設した遊具には木材などを多用しています。「家族連れで行けるスポット、また市民の憩いの場として、気軽に遊びに来てほしいです。『野あそびの丘』が、紀の川市の自然や魅力を感じられる場所の一つになれたらうれしい」と西端さんは期待を込めます。



龍門山を正面に望むこの堀。一番高い所からは、紀の川が見えます

「子どもと一緒に遊びたい」 市民待望の公園がオープン

「紀州富士」と称される龍門山を背景に、自然豊かな環境の中にある「野あそびの丘」。芝生広場に複合遊具を備えた公園として、8月1日にオープンしました。

「公園づくりのきっかけは、市民への意識調査で『子どもと一緒に遊べる場がほしい』という意見が多く寄せられたことでした。実際に、子どもたちが『野あそびの丘』で楽しそうに遊んでいる様子を見られて、うれしいです」と紀の川市役所企画経営課の西端克典さんは話します。公園の名称を考案したのは西端さん。「野山で遊ぶ」という公園のコンセプト、そして同園の特徴である丘や畠から着想を得ました。実際に触ることで、子どもの感性が育まれてほしい」という思いから、園内に四季折々の花や木々を植栽したほか、新設した遊具には木材などを多用しています。「家族連れで行けるスポット、また市民の憩いの場として、気軽に遊びに来てほしいです。『野あそびの丘』が、紀の川市の自然や魅力を感じられる場所の一つになれたらうれしい」と西端さんは期待を込めます。

「公園づくりのきっかけは、市民への